

令和4年第1回定例会（2月議会）

福祉環境委員会提出資料

―― 所管事項関係・当日提出資料 ――

令和4年3月3日

健 康 福 祉 部

目 次

◎ 所管事項関係

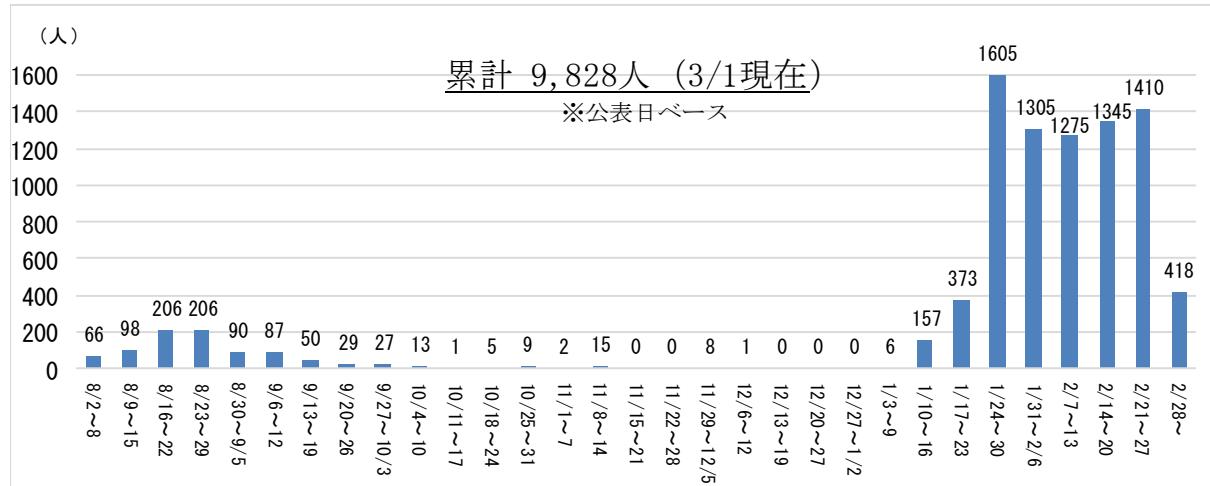
1	新型コロナウイルス感染症への対応について	(保健・疾病対策課)	1
2	新型コロナワクチンの接種について	(医務薬事課)	5

新型コロナウイルス感染症への対応について

保健・疾病対策課

I 感染状況等

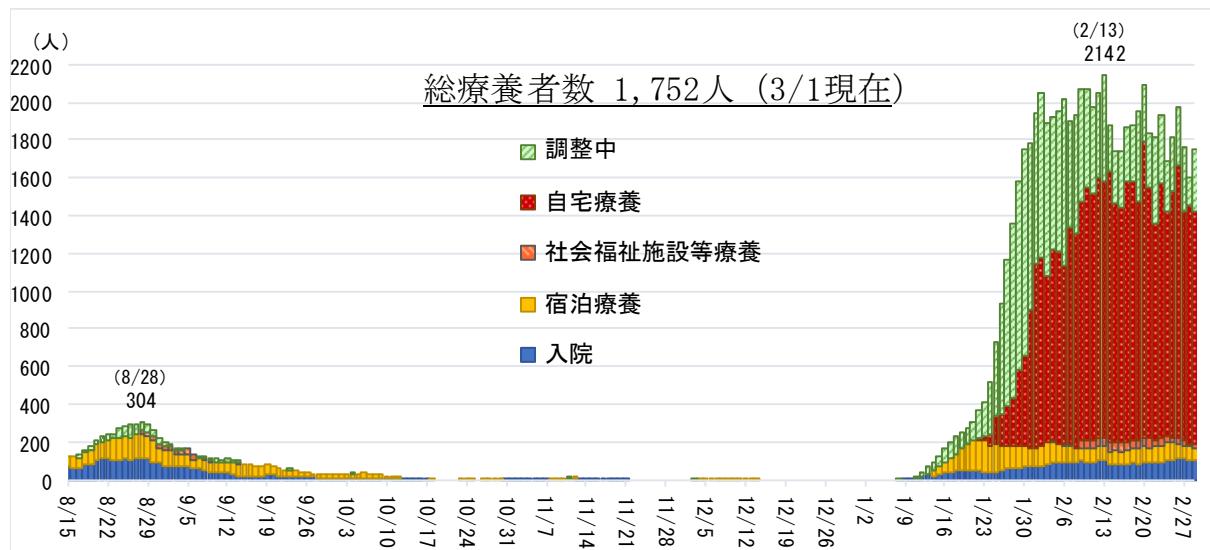
1 県内の新規感染者数の推移



1月以降のクラスター発生件数 (3/1現在)

保育園	学校	スポーツ関連	職場	会食	飲食店	医療機関	福祉施設(保育園除く)	その他	計
19	35	8	14	5	2	4	25	2	114

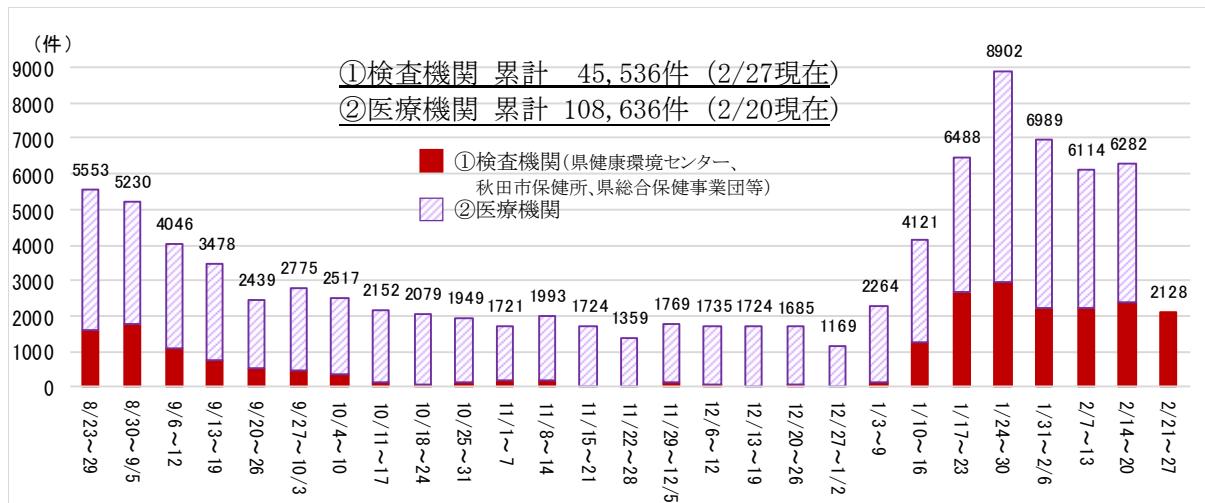
2 感染者の療養状況



入退院者数等の状況 (3/1現在)

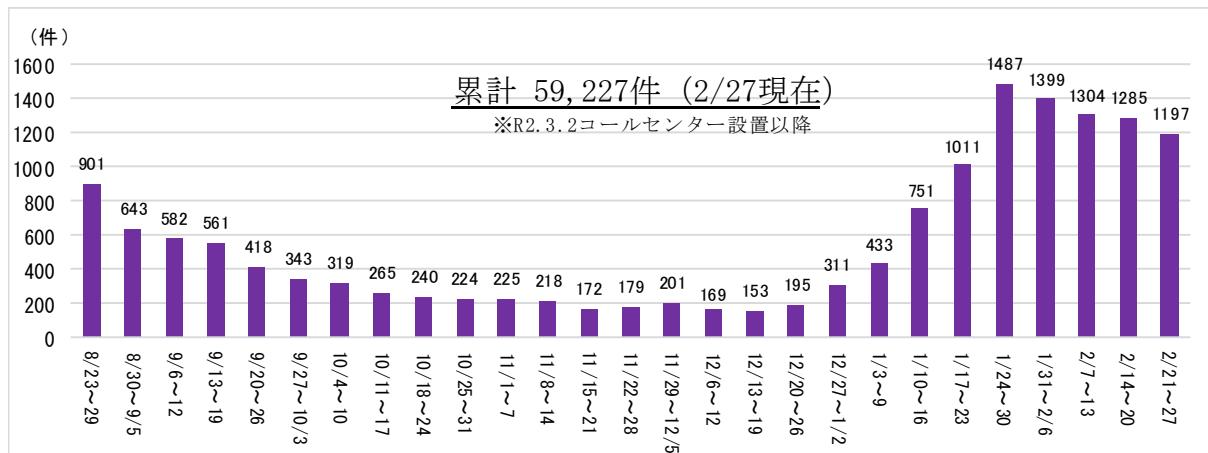
累計感染者	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院・療養調整中	退院者・療養解除者	死亡者
9,828人	106人	0人	64人	14人	1,243人	325人	8,043人	33人

3 PCR等検査件数の推移 (Lamp法、抗原定量、抗原定性キット等を含む)



※医療機関における検査件数は、R2年11月16日以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS)から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値(G-MIS集計分は2/20まで、県医師会集計分は1/30までの件数)

4 新型コロナ受診相談センターの相談件数の推移



II 医療提供体制等

1 検査・医療提供体制

(1) 第6波の感染急拡大への対応

○みなし陽性の導入

- ・感染者の同居家族等の濃厚接触者で、発熱などの症状が出た場合など、医師の判断により検査を行わずに臨床症状のみで感染を診断 (1/28～)
- みなし陽性者数累計 228人 (3/1現在)

○自宅療養の開始

- ・感染の急拡大により、1月21日から自宅療養を開始
自宅療養者累計 6,313人 (3/1現在)
- ・療養中の食料品等及び健康観察のためのパルスオキシメーターの配達
食料品等 1,397セット パルスオキシメーター 1,882個 (3/1現在)
- ・医師会等関係団体の協力を得て、自宅療養を可能とする体制を整備
協力施設：診療所 200施設、薬局 362施設、訪問看護ステーション7施設 (3/1現在)
- ・療養中の生活に係る経済的負担の軽減を図るため、1人当たり3万円の給付金を支給

○保健所体制の確保

- ・感染が急拡大した保健所へ、保健師等を応援派遣

保健師：県保健師、在宅保健師及び市保健師（大館市・男鹿市・横手市・湯沢市・大仙市）による疫学調査等

大学教員：日赤看護大学教員による疫学調査

地域振興局職員：検査キット配付業務、疫学調査補助（聞き取り、データ入力）等（能代 1/12～2/12、由利本荘 1/15～、横手 1/23～、大館 1/24～、湯沢 2/5～2/20、大仙 2/9～、秋田中央 2/11～）

○抗原定性検査キットの配付調整

- ・県独自に調達・確保していた検査キットを感染拡大地の医療機関等に供給
医療機関、介護老人保健施設、県医師会等へ 64,375 テスト分（1/25～3/1）

○濃厚接触者の待機期間短縮

- ・厚生労働省通知に基づき、濃厚接触者の待機期間と無症状陽性者の療養期間をそれぞれ 10 日間から 7 日間に短縮（1/28～）

○宿泊療養施設の拡充

- ・県北地域での運用を開始（1/31～、20 室収容 30 人）

○即応病床の確保

- ・2 月 2 日から病床確保フェーズを引き上げ
フェーズ 5（244 床）→ フェーズ 6（289 床）

○患者受入先病床等の調整

- ・県調整本部で全県一元的に入院・宿泊療養先、自宅療養を調整

（2）検査体制

○ P C R 等検査可能件数：最大時 2,455 件/日（有症状者・濃厚接触者等）

県健康環境センター、秋田市保健所、県総合保健事業団、秋田大学、医療機関

※診療・検査医療機関、高齢者・障害者施設で使用する抗原定性検査キットも含めた

検査可能件数は、最大時 8,340 件/日

○無症状者への P C R 等検査無料化事業

- ・飲食・イベント・旅行・帰省等のための無料検査（12/24～3/31）

※対象者を健康理由等によるワクチン未接種者からワクチン接種済み者にも拡大（1/26）

- ・感染拡大傾向時における感染不安を感じる県民への無料検査（1/5～3/4）

検査場所：51 か所（3/1 現在）※民間検査機関・薬局等

検査実績：25,994 件（12/24～3/1）

（3）外来医療体制

○診療・検査医療機関：283 か所（3/1 現在）

※発熱患者等の診療・検査に対応する地域の身近な医療機関を県で指定

○地域外来・検査センター：5 か所（3/1 現在）

※鹿角市、大館市、北秋田市、能代市、横手市に設置（従来の公設仮設診療所）

(4) 入院医療体制

○患者受入のための病床数：289床（19病院）

地域別	県北	県央	県南	合計
最大確保想定病床数 (フェーズ6)	53床	170床	66床	289床
重症度別	重症	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ・軽症	合計
最大確保想定病床数	24床	128床	137床	289床

重症：ICU管理が必要又は人工呼吸器等装着
中等症Ⅱ：酸素投与が必要な状態（呼吸不全あり）
中等症Ⅰ：息切れ、肺炎所見あり（呼吸不全なし）
軽症：呼吸器症状なし

○軽症者等受入のための宿泊療養施設：415室（5施設）

地域別	県北	県央	県南	合計
宿泊療養居室数 (収容人員)	20室 (30人)	304室 (387人)	91室 (101人)	415室 (518人)

(5) 治療薬の状況

○中和抗体薬の県内使用実績（3/1現在）

- ・ロナプリーブ：16病院 184症例（うち循環器・脳脊髄センター 58症例）
- ・ゼビュディ：17病院 250症例（うち循環器・脳脊髄センター 87症例）

○経口治療薬の登録施設（2/26現在）

- ・ラグブリオ：医療機関 173施設、薬局 257施設
- ・パキロビッド：医療機関 19施設、薬局 4施設

※このほか、塩野義製薬が承認申請中

新型コロナワクチンの接種について

医務薬事課

1 県内の接種状況等

○ 接種実績（首相官邸ＨＰ：3月1日公表時点）

	1回目	2回目	3回目
総接種回数	828,284	815,923	143,858
対全人口接種率	85.3%	84.0%	14.8%
参考（全国接種率）	80.3%	79.1%	20.4%

○ ワクチンの供給状況

＜供給スケジュール＞

配送時期	供給量（回分）	
	ファイザー社	武田／モデルナ社
11月-1月	155,610	151,650
2月	85,410	74,850
3月	107,640	67,800
4月	161,460	141,450
小計	510,120	435,750
計	945,870	

2 追加（3回目）接種促進に向けた取組

○ 秋田県ワクチン接種会場

県内の全市町村の住民を受け入れ追加接種を行う場所を提供する。

場所	秋田県総合保健事業団中央健診センター
接種日	2月20日（日）～3月27日（日）の日曜・祝日（8日間）
受入人数	1日最大500人
ワクチンの種類	武田／モデルナ社ワクチン

○ 交互接種、早期接種についての広報

新聞広告	2月11日（金）、26日（土）
テレビ・ラジオ	2月26日（土）～3月13日（土）

○ 接種券の早期発行要請

接種の前倒しに合わせた接種券の早期発行を市町村長に依頼。

○ 好事例の共有

市町村における取組の好事例を情報提供。

【予約枠に空きが生じている場合の取組内容】

- ・エッセンシャルワーカー（保育士、小中学校教職員、消防関係職員 等）への前倒しでの受付
- ・モデルナワクチンの接種を希望する方（2回目から6か月以上経過した方）を公募
- ・急なキャンセルに備えた代替要員（エッセンシャルワーカー等）の確保 等

○ 高齢者を対象とした追加接種見込み

	2月	3月	4月
接種完了予定市町村数（累計）	2市町村	12市町村	25市町村
高齢者向け接種計画数（累計）	約129千人 (39%)	約295千人 (88%)	約335千人 (100%)

※（ ）内は追加接種対象高齢者（約335千人）に対する割合

3 小児への接種について

○ 概要

- ・対象 原則、日本国内に住民登録のある5～11歳の方
- ・期間 令和4年9月30日まで
- ・接種回数 3週間の間隔をあけて、合計2回接種
- ・費用 無料
- ・努力義務 適用対象外(最新の知見を踏まえて改めて議論)

○ 県内接種対象者

約46,000人

○ 使用するワクチン

小児用ファイザー社製ワクチン（mRNAワクチン）

＜供給スケジュール＞

配送時期	2月	3月	4月	計
供給量（回分）	5,700	12,600	56,400	74,700

○ 市町村別接種開始見込み時期（2月22日時点）

3月中 19市町村

4月中 6市町村

○ 小児用接種に係る相談体制

小児に係るワクチン接種についての相談を受け付ける専門の窓口（コールセンター）を開設予定（3月8日～）。